

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2373800396
事業所名	グループホーム安心樹

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目：2)	評価
	事業所敷地内に畑があり、地域の老人クラブの人達に協力して貰えたことで旬の野菜の収穫が出来た。また、地域の人から洪柿を貰い、利用者と一緒に干し柿を作るなど地域の人達とは日頃から交流がある。管理者は近隣の人から介護保険制度に関する様々な質問を受けることがよくあり、説明や助言をしている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取り組み (外部評価項目：3)	評価
	会議は年6回開催している。会議の中で、出席者から地域の避難訓練の参加を勧められ職員が参加した所、心肺蘇生の訓練も経験することができた。その後事業所で急変した利用者へ心肺蘇生を落ち着いて対応する事ができ、消防署職員から対応が早く一命を取りとめたとの声をもらっている。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目：4)	評価
	小牧市で当事業所が1番目のグループホームという事で、市役所職員の訪問や情報交換をする事はよくある。職員は篠岡地区の地域協議会に参加しており、地域課題の解決に努めたり、3月には福祉に関する施設がどのような特徴があるかなどについて発表する事になっている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目：6)	評価
	毎月「やすらぎ新聞」を発行している。家族交流会は年2回開催している。家族からの要望や意見は真摯に受け止めて、職員間で話し合い改善している。その中でリビングのソファの位置を変更したり、玄関入り口から冷たい風が来るのを防ぐため扉をつけるなどの改善をしている。	○
重点項目⑤		評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認 (記録、写真等) できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。